



閉鎖性海域環境保全推進等調査費

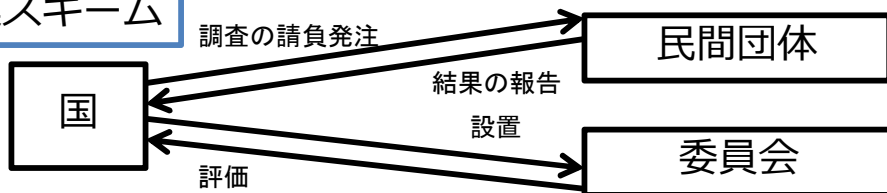
平成29年度要求額
132百万円（132百万円）

背景・目的

- 近年、有明海・八代海等においてシャットネラ赤潮の大規模発生や貧酸素水塊により、過去最大の漁業被害が生じている
- 地元から有明海・八代海等総合調査評価委員会※（以下、「委員会」）に対し、環境異変の原因究明や海域再生への道筋の提示が求められている

- こうした状況を踏まえ、委員会が着実に再生の評価を進めるために必要な調査を早急かつ着実に実施する体制を確立する

事業スキーム



事業概要

- (1)環境変化の端緒となるデータの収集、整理
- (2)環境異変の原因要因・機構究明のためのデータの収集、整理
- (3)委員会の運営

期待される効果

- ・平成28年度に取りまとめられる委員会報告で示される課題について情報収集・整理、委員会へ情報提供
- ・委員会からの要求事項に的確に対応

※ 有明海・八代海等総合調査評価委員会
「有明海及び八代海等を再生するための特別措置法」に基づき設置されたもの。
総合的な調査の結果に基づいて有明海及び八代海等の再生に係る評価を行う。

事業目的・概要等

現状

●赤潮の発生

H21.7、有明海・八代海・橘湾で大規模なシャットネラ赤潮が発生

●漁獲量の長期低迷



《地元の声》 早期に環境異変の**原因究明**・再生への**道筋の提示**を

要望

環境省

●環境異変を捉える情報

- ・海域全域的な**水温、水質、底質、潮流情報**等
- ・局所的に発生する**貧酸素水塊や赤潮の消長**等
- 環境異変の**原因要因・メカニズムに関する情報**
- ・有明海の特徴である**濁りについての情報**
- ・八代海の**生物生態系についての情報**

再生評価の**科学的根拠**を提供

提供

有明海・八代海等 総合調査評価委員会

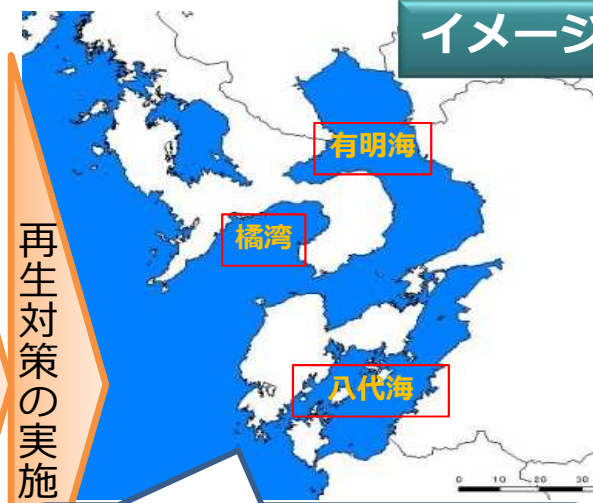


【委員会の目標】

- 有明海・八代海等の**海域環境の変化傾向とその変化が生息生物に及ぼす影響の度合い**を把握
- 再生に必要となる**対策(再生対策)が何なのか、また、その行程**を明らかにする

提示

イメージ



再生対策の実施

- 貴重な自然環境
- 水産資源の回復



再生の実現